

東北「道の駅」における利用実態調査の結果について
(国土交通省社会実験 「道の駅」利用高度化実験)

当研究会が提案し、国土交通省の社会実験に採択された「『道の駅』利用高度化実験」の一環として、東北の「道の駅」における利用実態に関する調査を実施しております。

次の3つの調査について集計しましたので、お知らせいたします。

(各調査結果は、別紙1～3をご参照ください)

- ① 2 駅(道の駅「いいで」「よつくら港」)における社会実験ステージでの調査 …別紙 1
(研究会における直接調査)
- ② 東北 6 県の道の駅における車中泊実態調査 (各駅長からの実態報告) …別紙 2
- ③ 道の駅を対象とした車中泊実態に関する調査 (各駅長へのアンケート調査) …別紙 3

<参考> 東北「道の駅」車中泊研究会 構成組織

役 職	所 属		
会 長	宮城大学事業構想学部教授		
副会長	特定非営利活動法人東北みち会議理事長		
委 員	道の駅「いいで」	飯豊町産業振興課	山形県県土整備部道路課
	山形河川国道事務所米沢国道維持出張所		
	道の駅「よつくら港」	いわき市土木部土木課	福島県土木部道路整備課
	磐城国道事務所	全国車中泊研究会	
オブザーバー	東北地方整備局道路部	東北運輸局企画観光部	日本RV協会
事務局	特定非営利活動法人東北みち会議		

【お問合せ先】 東北「道の駅」車中泊研究会事務局
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 1 丁目 13-32 オーロラビル 606 号
TEL 022-722-3380 / FAX 022-722-3381 (担当:安藤)

<① 2 駅(道の駅「いいで」「よつくら港」)における調査>

1. 実験期間

[道の駅いいで] : 平成 22 年 10 月 8 日(金)~17 日(日)

[道の駅よつくら港] : 平成 22 年 10 月 22 日(金)~31 日(日)

2. 実験対象 道の駅「いいで」・「よつくら港」の車中泊利用者

3. 実験内容

- ・駐車場への車中泊専用区画の設定
- ・車中泊利用者用備品・サービス提供(テント・流し・洗濯乾燥機・ゴミ袋)
- ・車中泊利用者へのアンケート調査

4. 車中泊台数等

<道の駅いいで>

	8 日 (金)	9 日 (土)	10 日 (日)	11 日 (祝)	12 日 (火)	13 日 (水)	14 日 (木)	15 日 (金)	16 日 (土)	17 日 (日)	計
駐車 台数	40 台	45 台	40 台	25 台	12 台	16 台	12 台	10 台	25 台	30 台	255 台
車中泊 台数	4 台	8 台	11 台	4 台	2 台	8 台	3 台	0 台	8 台	8 台	56 台

<道の駅よつくら港>

	22 日 (金)	23 日 (土)	24 日 (日)	25 日 (月)	26 日 (火)	27 日 (水)	28 日 (木)	29 日 (金)	30 日 (土)	31 日 (日)	計
駐車 台数	13 台	29 台	12 台	3 台	8 台	9 台	14 台	8 台	17 台	12 台	125 台
車中泊 台数	9 台	24 台	7 台	2 台	4 台	3 台	2 台	2 台	1 台	3 台	57 台

※ 道の駅「よつくら港」では、台風接近・強風のため 28 日(金)に流し台等の設備を撤去し、アンケート調査のみ実施しました。

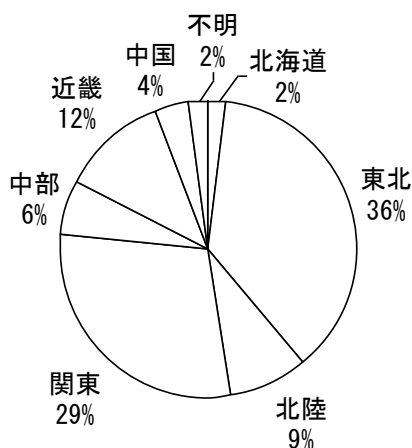
5. 実験協力者数(アンケート回答者) のべ 103 名

6. 調査結果

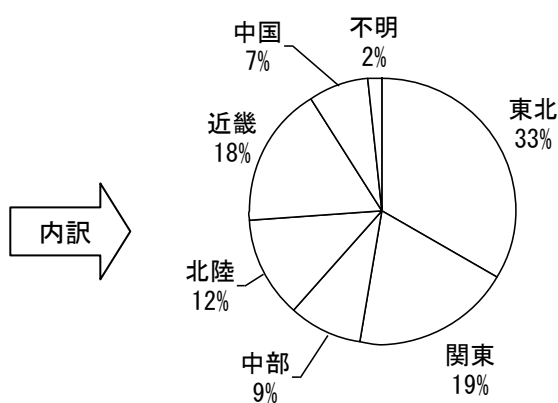
(1) 属性

- ・居住地は全体では東北、関東の旅行者が多い。「いいで」では東北・関東が5割、近畿(2割)、北陸(1割)、中部(1割)と他地区も多いが「よつくら港」では、東北・関東の旅行者が8割を占めている。
- ・50代～60代の方が6割を占めている。また同行者では夫婦での旅行が5割と最も多い。
- ・車種ではキャンピングカー、普通車、車中泊用改造車がほぼ同じ割合で、車中泊による旅行者が多様であることがわかる。

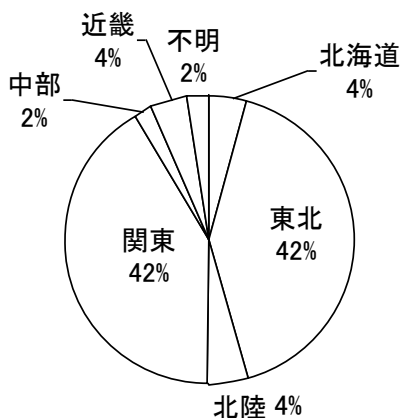
①居住地



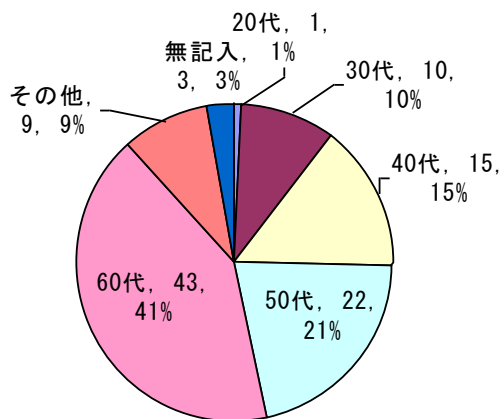
(道の駅いいで)



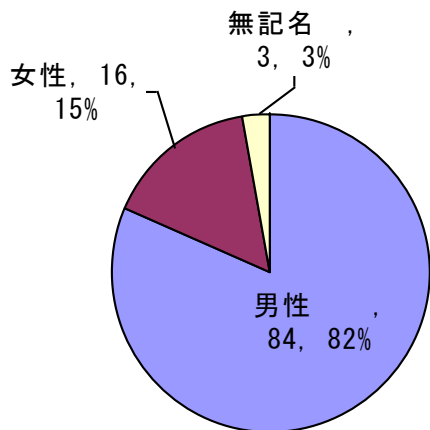
(道の駅よつくら港)



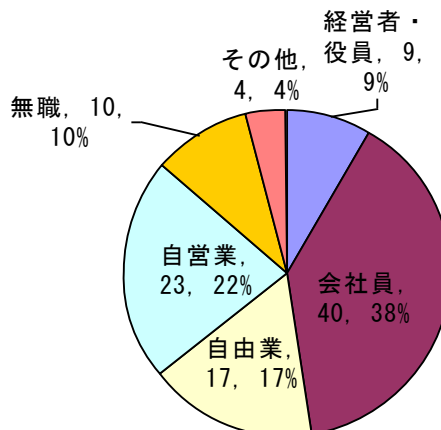
②年代



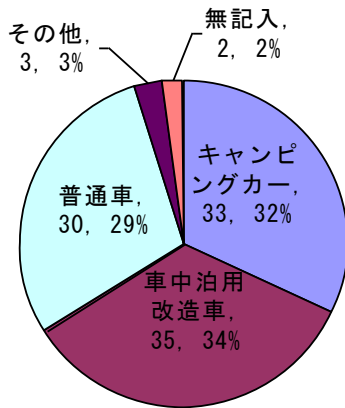
③性別(アンケート回答者)



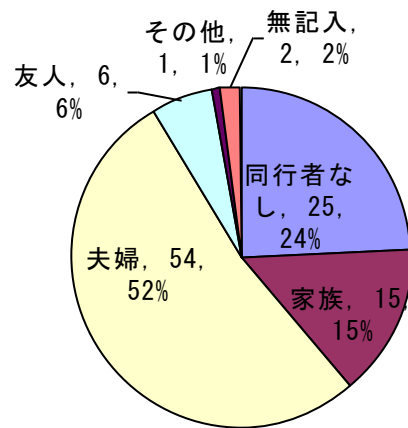
④職業



⑤車種



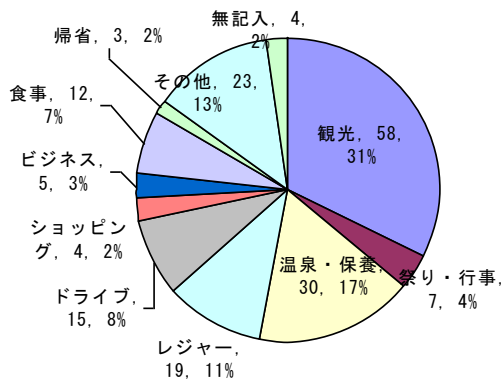
⑥同行者



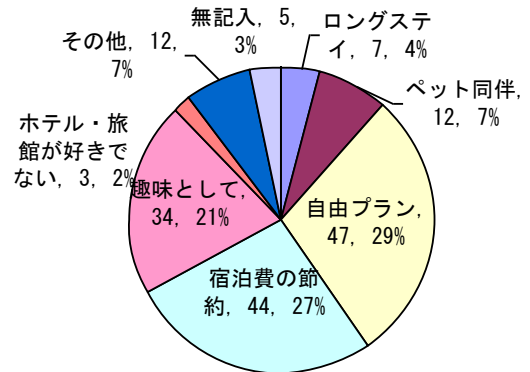
(2)車中泊の旅行形態について

- ・車中泊の旅行目的は、観光、温泉・保養、レジャー、ドライブの順に多い。
- ・旅行の理由では「自由プラン」「宿泊費の節約」「趣味」を、それぞれ2割以上の方が挙げている。
- ・食事は車中泊場所（道の駅やSAなど）が3割、地域の飲食店が3割、お風呂では近隣の温泉を利用する方が8割である。
- ・2泊以内の旅行が5割を占めている。一方、3泊以上の旅行者が4割、その中でも8泊以上が2割以上で、その他の旅行と比較しても、長期間の旅行をされる方が多い。
- ・車中泊歴は5年以内の比較的経験年数の浅い方が約5割だった。経験回数も10回以下の方が2割、50回以下の方とあわせると5割になる。

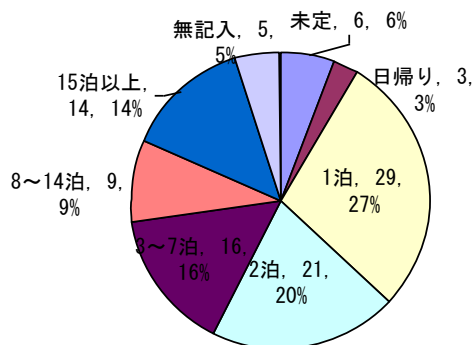
①車中泊による旅行の目的



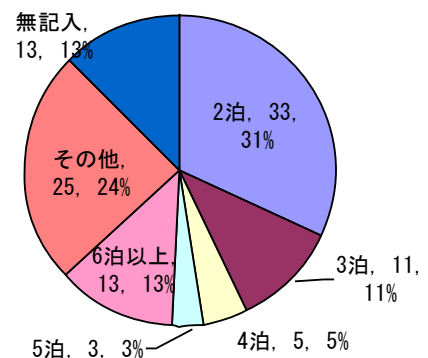
②車中泊による旅行の理由



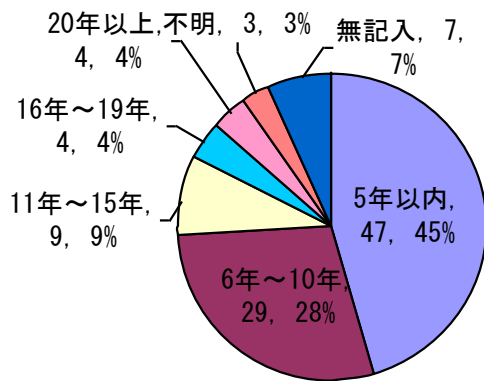
③車中泊旅行の平均日数



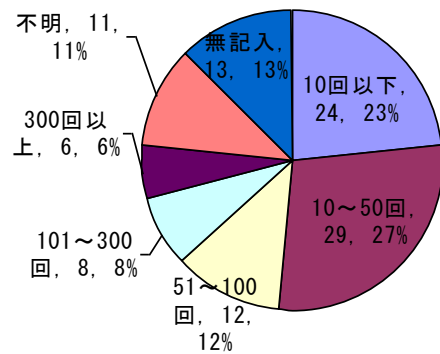
④旅行の平均日数(車中泊・その他含む)



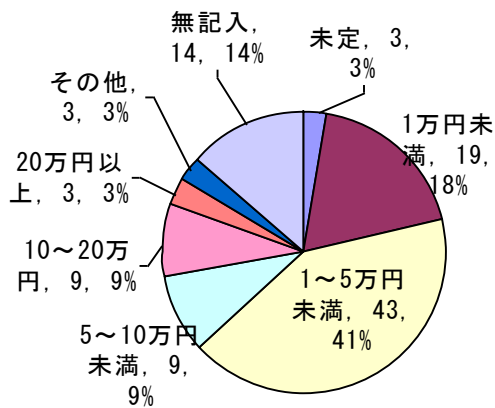
⑤車中泊歴



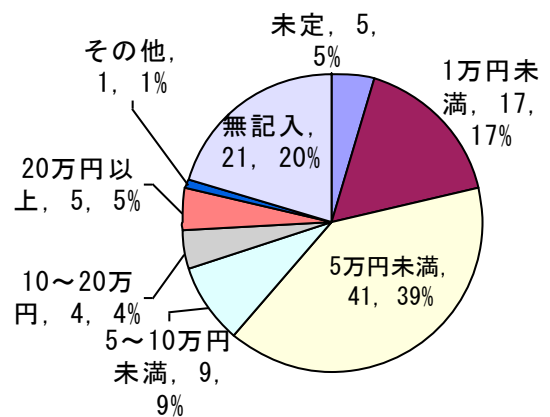
⑥経験回数



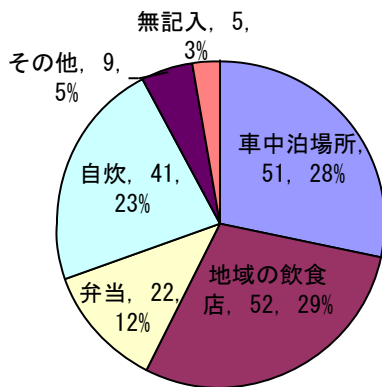
⑦旅行予算（交通費）



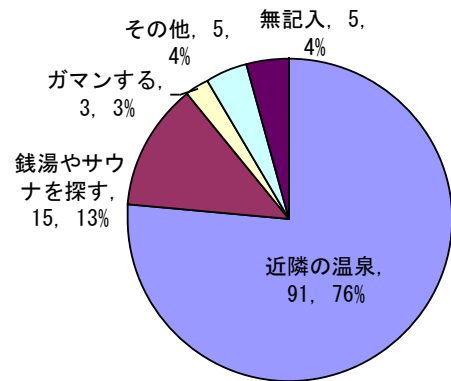
(現地での費用)食事、お土産、入場料等



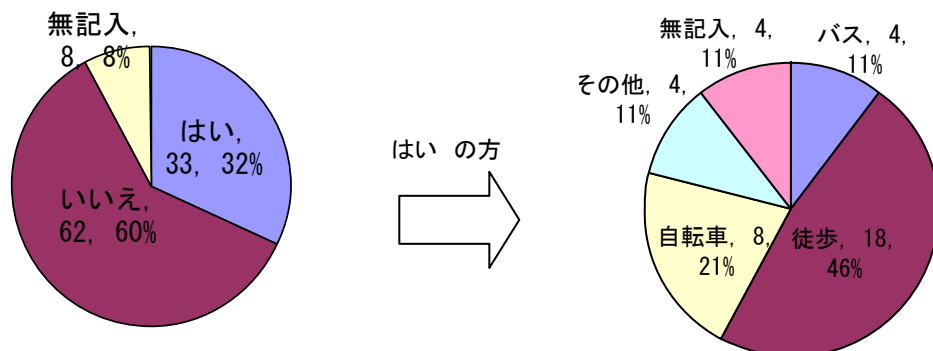
⑧食事



⑨お風呂



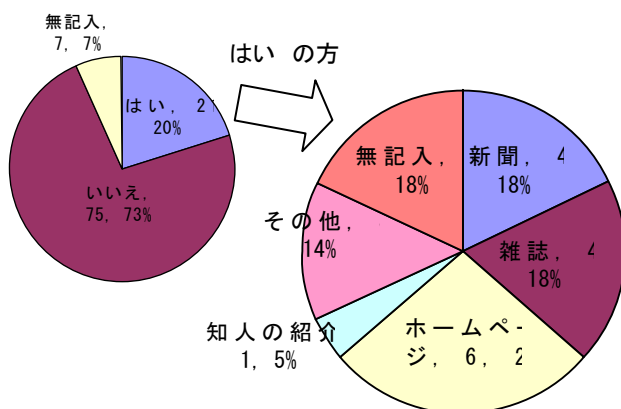
⑩近隣への外出の有無と出かける場合の交通手段（車中泊場所への駐車後）



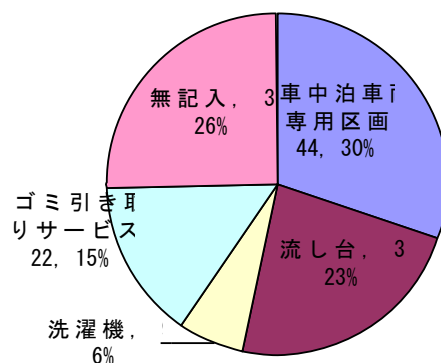
(3) 社会実験の実施について

- ・期間中の車中泊利用者のうち、社会実験の認知度は 2 割であるが、手段としてホームページが最も多く、新聞、雑誌を上回る結果となっている。
- ・社会実験による設備の利用では、車中泊専用区画が最も多い 3 割であった。
次いで、流し台が 2 割であるが、マナー違反と思う行為でも洗面所での炊事・食器洗い・給水など水周りに関する行為が 3 割挙げられていた。
- 同様に、利用予定でのゴミ引取りサービスと、マナー違反と思う行為でのゴミ投棄も約 2 割となっている。

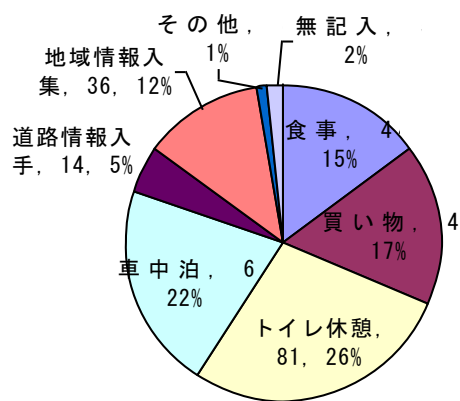
① 認知度



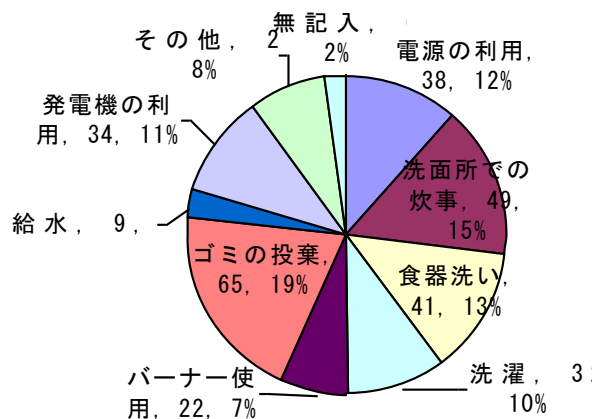
② 社会実験による設備の利用(予定含む)



③ 道の駅の利用頻度(複数回答)



④ 道の駅利用でマナー違反と思う行為



<② 東北6県の「道の駅」における車中泊実態調査>

1. 調査対象および回答駅数

対 象 : 東北の「道の駅」137 駅 (H22.10.15 時点での供用開始駅) / 回 答 : 121 駅

2. 調査日時

<平日>平成22年10月19日(火)~21日(木)、26日(火)~28日(木)のうち1日

<休日>平成22年10月17日(日)、24日(日)、31日(日)のうち1日

上記期間中、平日、休日それぞれ1日、午前6時30分~7時30分に、「道の駅」駐車場内の台数、車種を調査。

3. 調査結果

(1) 駐車台数・車中泊台数 県別内訳 (回答121駅の集計)

県	平 日 (単位:台)			休 日 (単位:台)		
	車中泊車	車中泊以外	計	車中泊車	車中泊以外	計
青森	98	148	246	106	194	300
岩手	87	240	327	94	221	315
宮城	89	98	187	121	104	225
秋田	94	410	504	132	388	520
山形	77	256	333	152	374	526
福島	138	304	442	234	171	405
計	583	1,456	2,039	839	1,452	2,291

(2) 車種別内訳(6 県集計)

車種区分		タイプ区分	調査台数		
			車中泊車	車中泊以外	計
一般車 (キャンピングカー以外の車)	軽乗用車	セダンタイプ	29	363	450
		ワンボックス(ジープRV含む)	58		
	乗用車	セダンタイプ	79	535	906
		ツーボックスタイプ	81		
		ワンボックス(ジープRV含む)	211		
	バス	マイクロバス、大型バス	0	15	15
	軽貨物車	セダンタイプ	18	115	159
		ワンボックスタイプ	26		
		トラック(軽トラ)	0		
	小型貨物車	トラック	0	52	52
貨客車	ライトバン・バンタイプ	15	28	43	
普通貨物車	トラック	0	319	319	
特殊(特種)車		0	29	29	
キャンピングカー	キャンピングカー	64	0	66	
	トレーラー	2	0		
合計			583	1,456	2,039

車種区分		タイプ区分	調査台数		
			車中泊車	車中泊以外	計
一般車 (キャンピングカー以外の車)	軽乗用車	セダンタイプ	46	474	596
		ワンボックス(ジープRV含む)	76		
	乗用車	セダンタイプ	111	705	1,207
		ツーボックスタイプ	133		
		ワンボックス(ジープRV含む)	258		
	バス	マイクロバス、大型バス	0	22	22
	軽貨物車	セダンタイプ	11	84	115
		ワンボックスタイプ	20		
		トラック(軽トラ)	0		
	小型貨物車	トラック	0	40	40
貨客車	ライトバン・バンタイプ	29	48	77	
普通貨物車	トラック	0	66	66	
特殊(特種)車		0	13	13	
キャンピングカー	キャンピングカー	148	0	155	
	トレーラー	7	0		
合計			839	1,452	2,291

<③ 道の駅を対象とした車中泊の実態に関する調査>

1. 調査対象および回答駅数

対象：東北の「道の駅」137 駅（H22.10.15 時点での供用開始駅）／ 回答：134 駅

2. 調査期間

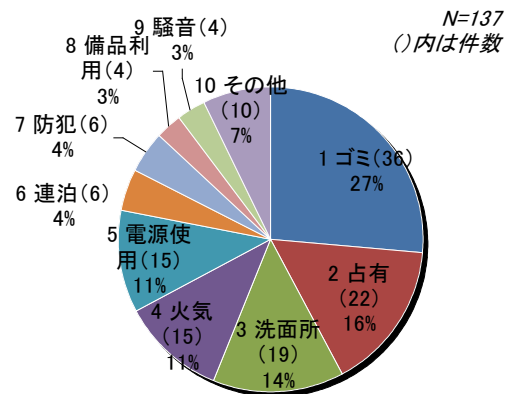
平成 22 年 10 月 17 日～11 月 30 日

3. 調査結果

Q1:現在、貴道の駅での車中泊利用による問題点と、その対応をお教えてください。(複数回答)

- ・ゴミの投棄(大量投棄、持込等)が4分の1以上と、最も多い。
- ・次いで、車外のテーブル持ち出し等(16%)や、洗面所での炊事・洗濯(14%)、火気の使用(11%)など、キャンプ場と同様の行為が4割を占めている。

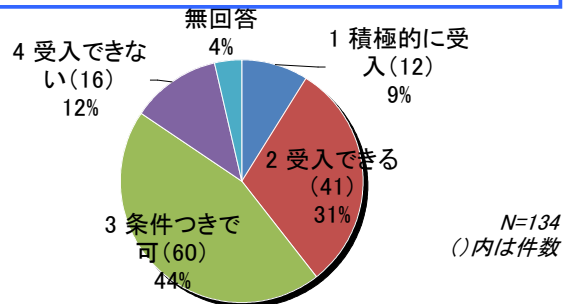
分類	回答数
1 ゴミの投棄	36
2 占有(車外のテーブル持ち出しなど)	22
3 洗面所での炊事・洗濯・給水等	19
4 火気使用	15
5 電源の無断利用(盗電)	15
6 連泊、長期滞在	6
7 防犯(盗難、車上荒らし、事故など)	6
8 施設の備品利用、無断持ち出し	4
9 騒音(アイドリング、飲酒で騒ぐ)	4
10 その他	10



Q2:貴道の駅では、今後、車中泊の受入をどのようにしたいとお考えですか。

- ・「積極的に受け入れたい」「受け入れることができる」「条件つきで受け入れてもよい」を合わせると回答駅のうち8割以上の道の駅が、受け入れに好意的である。

1 積極的に受け入れていきたい	12
2 受け入れることができる	41
3 条件つきで受け入れてもよい	60
4 受け入れることはできない	16
無回答	5



Q3: Q2(今後の受入について)の回答の理由をお教えてください。

<積極的に受け入れたい・主な意見>

- ・駐車場・トイレを24時間使えることが道の駅の条件なので、積極的に利用して満足していただきたい。
- ・道の駅には、安全、安心のイメージがあるから。(夜間の防犯上、駐車台数が多いほうが良い。)
- ・日帰り温泉があり観光のベースキャンプになっているので、積極的に考えるべき。
- ・道の駅が地域の拠点となるように、積極的に考えていきたい。

<条件つきで受け入れてもよい・主な意見>

- ・駐車可能台数に余裕があるため。
- ・駐車場でのマナーを守ってもらえれば問題ない。他人に対しての気遣いをすれば可。
- ・マナー向上の看板設置、ポスターの掲示など。道の駅共通のルールができれば受入可能。

<受け入れできない・主な意見>

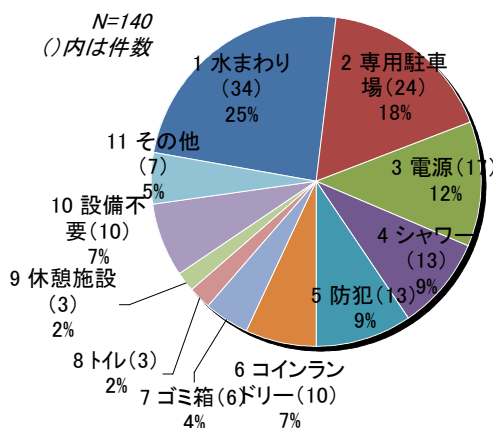
- ・駐車場と建物が近いので、火の取扱いが不安。問題が起きた場合に対処できない(特に深夜、早朝)。
- ・長期滞在が増える、長期滞在との見極めが困難になり、トラブルが発生する可能性がある。
- ・道の駅にキャンプ場が併設されているので、有料者と無料者という矛盾が生まれる。
- ・周辺のキャンプ場や温泉旅館を利用してほしい。

Q4: 今後、「道の駅」で車中泊を受け入れる場合、どのような設備が必要だと思いますか。(複数回答)

- ・「炊事などの水回りに関する設備」は、約4分の1が必要だと答えている。
- ・管理面に関しては、「車中泊の専用駐車場の設置」(約2割)、「防犯・防災設備」(約1割)だった。
- ・その他、電源、シャワー、コインランドリー等の設備が、それぞれ1割程度の回答だった。

- ・「設備は不要」という意見も7%あったが、キャンプ場と競合するよう豪華な設備は必要はない、今のままで十分、という理由が多かった。

分類	回答数
1 水まわりに関する設備(炊事・給水・排水)	34
2 車中泊専用駐車場、駐車場所の区分	24
3 充電器・電源の設置	17
4 コインシャワーなど	13
5 防犯・防災設備(監視カメラ、警察パトロールとの連携)	13
6 コインランドリー	10
7 ゴミ箱の設置	6
8 トイレ改修(身障者用トイレ、オストメイトの設置)	3
9 24時間開放できる休憩施設	3
10 設備は不要	10
11 その他	7



Q5: 今後「道の駅」で車中泊を受け入れる場合、どのようなルールが必要だと思いますか。(複数回答)

- ・マナーに関する意見(社会ルールや一般常識を守る、他の利用者に迷惑をかけない、など)が2割で最も多かった。
- ・具体的なルールでは、ゴミ持ち帰りが2割だった。次いで、火の使用や騒音の禁止、車外のテーブル持出し禁止など、キャンプ場と同様の行為禁止が4割という結果で、現在の問題点(Q1)に対応する結果となった。
- ・その他、「道の駅への届出」「連泊禁止」「防犯ルール」など、管理面でのルールが2割である。

分類	回答数
1 マナー(社会ルール、一般常識の遵守、意識啓発、看板設置、注意書きを含む)	37
2 ゴミ持ち帰り	36
3 火・火気を使わない	15
4 騒音を出さない、アイドリングストップ	14
5 道の駅への届出	13
6 連泊、長期滞在の禁止(駐車時間の限定)	12
7 占有しない(車外のテーブル持出し禁止等)	10
8 電源の無断利用禁止(盗電)	8
9 防犯のためのルール	7
10 施設の備品持出し禁止	5
11 水まわり(炊事・洗濯・大量の給水禁止)	6
12 ルール不要	4
13 その他	10

